

公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

URC資料室だより NO.83 平成27年6月号

福岡アジア都市研究所は、  
福岡市を中心に産学官が協力して  
設立した研究機関です

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館 6F  
tel:092-733-5707 fax:092-733-5680 email: library@urc.or.jp

目次

◆URC資料室ニュース

- ①今月のおすすめ 平成26年度 研究成果、事業成果  
報告書続々発行! . . . . . 1
- ②平成27年度 第1回ミニセミナー開催報告 . . . . . 2

◆URCニュース

◆URC資料室ニュース

- ①平成27年度 第1回都市セミナー開催予告 . . . . . 3
- ②研究紀要『都市政策研究 第17号』掲載論文募集中・3
- ◆FDCニュース イノベーションスタジオ福岡 Project#2  
終了 . . . . . 3
- ◆マスコミでみるURCの今 . . . . . 3
- ◆「資料速報 平成27年5月受入分」 . . . . . 別添

①今月のおすすめ 平成26年度 URC研究成果・事業成果報告書を発行しました。

「第3極」の都市

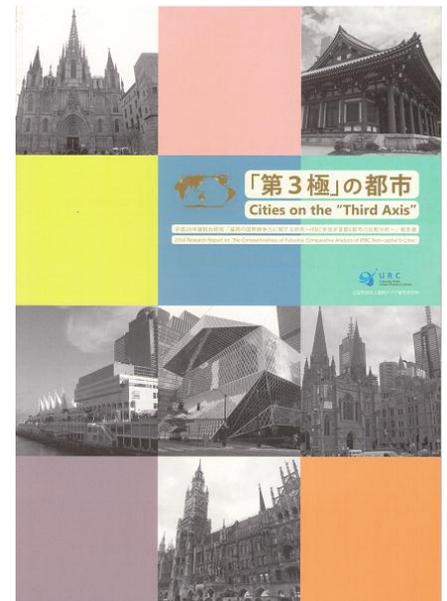
(福岡の国際競争力に関する研究報告書)

情報戦略室研究スタッフ 山田美里

この度、(公財)福岡アジア都市研究所では、福岡と類似性を有している、首都・経済首都でなくメガ・シティでもない5つの都市(シアトル・バンクーバー・メルボルン・ミュンヘン・バルセロナ)と福岡を「第3極」の都市と名付け、それぞれの国際競争力を比較し、その研究結果をまとめたレポートを発行しましたので、紹介いたします。

近年、国際競争力を有する都市を評価してそれらの順位を示す「都市ランキング」が多く発表されています。その中でも世界的に知られている都市ランキングとして、日本の「Global Power City Index」、英国の「Global Cities Competitiveness Index」、「Global Cities Index」、米国の「Global Cities Survey」の4つを挙げる事ができます。いずれの都市ランキングにも、ロンドン、ニューヨーク、パリ、東京、香港などの首都・経済首都がトップ10入りしています。福岡も順位は高くないですが2つの都市ランキングにランクインしています。4つの都市ランキングの評価対象都市、約100都市を属性分けすると、首都・経済首都とそうでない都市に分けることができ、さらにメガ・シティと都市圏人口500万以下の都市に分けることができます。その中でも、国際機関の本部が集積するジュネーブや国際金融の中心地であるフランクフルトなどの高度グローバル都市を除くと、13都市が残ります。このうち福岡を含む8都市のみが、英国情報誌 MONOCLE などが発表する「住みやすい都市ランキング」で上位に評価されています。私たちは、これら8都市を首都でもメガ・シティでもないなかで存在感を放つ「第3極」のグローバル都市として位置づけました。さらに、8都市のうち国際地域ベンチマーク協議会(IRBC)に加盟する6都市(福岡、シアトル、バンクーバー、メルボルン、ミュンヘン、バルセロナ)を

今回の比較分析対象都市として選定し研究しました。研究を通じて、福岡は「生活の質」においては他都市と同等の高い評価を有するものの、「都市の成長」においてはまだまだ成長の余地がみられることが分かりました。例えば、寿命の長さ、犯罪の少なさ、外食・家賃コストの低さは、6都市中1位で



すが、宿泊施設の充実度や大学のグローバル評価、海外人材の割合については、他都市に比べ著しく低い結果となっています。福岡には今後、高い「生活の質」を維持しながら、「都市の成長」を持続的にもたらす戦略が必要であると考えられます。さらに、大幅な経済波及効果が見込まれる「天神ビッグバン」など「グローバル創業・雇用創出特区」の取組みを推進する中、福岡空港や国際展示場等の整備にともなう未来シナリオを描くことで、生活の質だけでなく都市の成長においても他のグローバルシティと並ぶ高い水準の達成が可能となる事が予測できました。

今回発行した『「第3極」の都市』は、全ページ日本語・英語併記で、グラフや図を多く使い、国内外の方に活用していただけるよう工夫しました。現在、URC ホームページにて無料で閲覧・PDFダウンロード可能ですので、ぜひ多くの方に読んでいただけることを願っています。

WEB ページ→<http://urc.or.jp/h26sougoukyousou-final>

『スタートアップ都市』形成に向けた政策課題  
に関する研究Ⅱ 報告書 特別研究員 岡田允



平成24年12月に策定された福岡市「第9次基本計画」の1つとして「新たな価値を創造していく…人材や企業が挑戦でき都市（スタートアップ都市）となる…」という目標が掲げられたのを受けて、平成25年度に『スタートアップ都市』形成に向けた政策課題に関する研究を実施した。そこでは「スタートアップ」を、女性の趣味活動から

会社設立、美容師等特殊技能者の「独立開業」、さらには市外企業の福岡事業所開設などを含む新規事業所開設とし、そのための課題を網羅的に抽出した。  
2年目、平成26年度の「同研究Ⅱ」は、同年5月に福岡市が「グローバル創業・雇用創出特区」に指定され、国、県、市等による「特区会議」が組織され、研究に先行して「グローバル創業都市・福岡」ビジョンが策定され強力に推進され始めたこともあり、より長期的観点から、福岡市の成長にとっての新しい都市機能創出の重要性や新産業振興の方向性を検討しつつ、ベンチャー型スタートアップの創出のための政策課題を補足的に抽出するものとなった。

このため、「社会情報基盤」の先導的整備の必要性とともに、わが国の大手電機・情報企業の研究部門が集積した「福岡ソフトリサーチパーク」整備過程とその成果(評価)、さらに「福岡をゲーム産業のハリウッドに」を掲げ発展するゲーム産業等のコンテンツ産業政策の動向と課題等も取上げた。

②平成27年度 第1回ミニセミナーを開催しました。

6月2日火曜日、午後6時半から7時40分まで当研究所会議室において、平成27年度第1回ミニセミナーを開催しました。

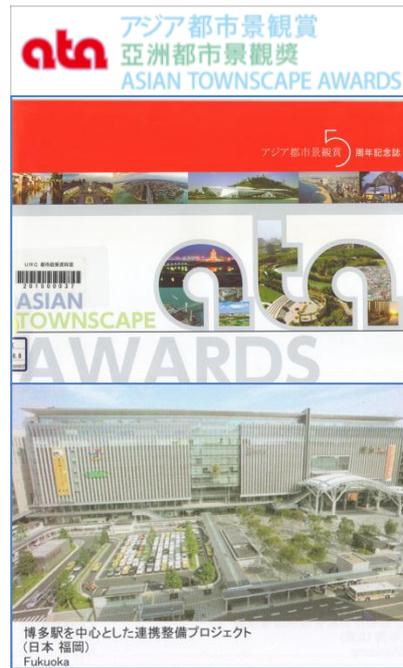
今回は、平成24年4月に結成されたURC任意の外部研究会「福博：花まち研究会」のメンバーのひとりが参加した「Flower Station in Fukuoka～暮らしに花を～」の開催報告でした。この事業は5回目を迎えた「福博花しるべ」の行事の一環として、今年初めて試みられたものです。

まず、メンバーの倉富晋さんから「Flower Station in Fukuoka～暮らしに花を～」の開催に至ったきっかけを、企画段階からお話いただき、その後、博多駅前に一時的に花屋を開設し、花の消費拡大を図るという試みを実際に行った株式会社日比谷花壇の松枝宏人さんから、販売された印象や売り上げ高、実施時に行った購入者アンケート調査の結果をお話いただきました。

ご紹介いただいた「福岡県は花の生産額で全国第2位ですが、福岡市の切り花の家計消費額は全国県庁所

「アジア都市景観賞5周年記念誌」

主任研究員 夏井圭介



「アジア都市景観賞」は、「国連ハビタット福岡本部」、「アジアハビタット協会」、「福岡アジア都市研究所」、「アジア景観デザイン学会」によって、アジアの人々にとって幸せな生活環境を築いていくことを目標に、2010年に創設された景観に関する国際賞です。

創設以来、のべ12か国・地域、54の案件を表彰し、昨年節目の5周年を迎えることが出来ました。

このたび、一つの区切りとして、また、これまでの5年間のまとめとして「アジア都市景観賞5周年記念誌」を発行するのはこびとなりました。この記念誌は弊所のHPにアップすると同時に都市政策資料室にて蔵書しております。是非ご覧ください。(蔵書のみ英語版あり)

また、現在2015年度の募集を行っております。たくさんのご応募をお待ちしております。

主な予定

- <募集期限 : 2015年7月21日(火)>
- <予備選考 : 2015年8月上旬>
- <合同審査会 : 2015年9月上旬>
- <授賞式 : 2015年10月27日(火)>



在市中第42位」という数字に、何が原因なのか、どうしたら福岡市の消費額が増えるのかという点に意見が集中し、活発な議論がなされました。

たくさんのご参加、ご意見誠にありがとうございました。

\*写真出典：URC撮影(山崎三枝 司書)

## ◆URCニュース

## ①平成27年度第1回都市セミナー「福岡のグローバル交流拠点形成」を開催します。

福岡市の国家戦略特区獲得から1年、徐々にその認知や、活用に向けた機運が高まっています。その1周年企画「フクオカ・イノベーション・ウェーブ」の一環として、5月に東京で開催された国際不動産フォーラム「MIPIM JAPAN」のプログラムの一つである「ビジネスツーリズム」や、交流とまちづくりについての講演と、URCが行った福岡の国際競争力に関する研究報告を通して、皆様と一緒に地域の成長を考える機会として、

本年度第1回URC都市セミナーを、6月29日月曜日16:00～18:30、アクロス福岡 7階 大会議室にて開催します。

内容や申込み方法等の詳細はURCホームページ、チラシ等をご覧ください。お申込みは6月25日木曜日当研究所必着です。関心をお持ちの皆様のご参加を、心よりお待ちしております。  
(白浜康二 主任研究員)

## ②URCの研究紀要『都市政策研究 第17号』の論文を募集中です。

平成27年12月発行予定の『都市政策研究 第17号』では、論文を募集しています。

投稿期限は、研究論文(=査読を要する論文)は8月31日月曜日正午、研究報告(=査読を要しない論文)は9月30日水曜日正午、それぞれ必着です。

投稿資格は原則として、URCおよび福岡市職員、または賛助会員ですが、大学の研究者等で編集委員会が認める場合にはこの限りではありません。

論文の内容は、都市政策に関連する研究成果をまとめ

たものとし、特に福岡市の都市政策に対する何らかの提言的な内容を含むことが望ましく、新奇性または有用性のあるもので、原則として未発表のものに限ります。

投稿規定の詳細はURCのHPに掲載しています。なお、投稿を検討・希望される場合は、6月末日までに、必ず担当者あて予めご連絡ください。

(E-mail: toshiseisaku@urc.or.jp 白浜・中村)。

気鋭の論文の投稿をお待ちしています。奮ってご応募ください。  
(中村由美 研究員)

## ◆FDCニュース

## イノベーションスタジオ福岡 Project#2「ライフコースのイノベーション」を終了しました！



「イノベーションスタジオ福岡」は、多様なバックグラウンド、能力をもつ様々な分野の人材が交ざり合い、共に新しい未来を創造していくプラットフォームです。

福岡の多様な人材と福岡内外の企業が「人材の交流」によって革新的なビジネスアイデアを創出し、創業・第二創業といったスタートアップにつなげていく特区に

選ばれた福岡ならではの約6ヶ月のプログラムです。

その第2弾プロジェクトとして平成27年1月より取り組んできたプロジェクトが「ライフコースのイノベーション - つながり・仕事・成長の未来 -」でした。平成27年5月24日に行われた最終ワークショップ「Exchange」では、子育て世代をサポートする事業や高齢者の雇用や新たな関係づくりにまつわる事業など10チームが事業アイデアを発表しました。これから事業化に向けて準備を進めていくチームに対して、引き続き福岡地域戦略推進協議会が支援していきます。

また、同日には、世界的なビジネスデザイナーである濱口秀司氏による講演会と、新たに6月よりスタートするProject#3「隠れた資源のデザイン」の参加者説明会を行いました。市役所の「隠れた資源」ともいえる15階食堂を使って、濱口氏よりイノベティブなアイデアを発想する思考法についてお話いただきました。

\*写真出典: FDC撮影 (原口唯 FDCスタッフ)

## マスコミでみる「URC」の今！ -最近1か月の情報を中心に-

## ◎新聞

(2015/6/2 日本経済新聞 朝刊 31p)

九州 この人に聞く 福岡にMICE着々 街づくり具体化進める  
FDC 石丸修平事務局長がインタビューに応える。

**(2015/6/2 読売新聞 朝刊 27p)**

魅力発信に都市景観大賞 教育・普及啓発部門唐津街道姪浜まちづくり協 自発的な活動 高い評価  
当研究所 OB の大塚政徳さんが事務局長を務める「唐津街道姪浜まちづくり協議会」が本年度の都市景観大賞(国土交通大臣賞：環境教育・普及啓発部門)に決定(\*印=以下同じ) コメントが紹介される。

**(2015/5/30 西日本新聞 朝刊 23p)**

大博劇場は博多座ルーツ ー博多を語る会 思いでたどる「蓮池・土井町」編 チンチン電車が走った街  
「デパートしゃれとった」市民研究員 OG 池田節子さんが博多を語る会のメンバーとして発言

**(2015/5/30 西日本新聞 朝刊 23p)**

まちナビ ■みそ蔵講演会  
当研究所 OB の大塚政徳さんが事務局長を務める「唐津街道姪浜まちづくり協議会」の講演会開催予告

**(2015/5/28 西日本新聞 朝刊 27p)**

地道に活動 都市景観大賞 唐津街道姪浜まちづくり協議会 歴史や街並み 伝える \*

**(2015/5/25 日本経済新聞 朝刊 11p)**

経済がいど ガイド 福岡から始まるグローバルビジネスの創生  
当研究所 OB で FDC エグゼクティブ・アドバイザーの後藤太一さんが講師を務めるシンポジウムの開催予告

**(2015/5/22 日本経済新聞 朝刊 13p)**

特区指定1年 「創業なら福岡」じわり浸透 施策105本、起業10件超 法人減税が課題  
FDC が主催するイノベーションスタジオ福岡の活動が紹介される。

**(2015/5/21 西日本新聞 朝刊 28p)**

九州を売り込む 海外向けに不動産紹介 福岡・北九州市 都内で商談会  
野田順康特別研究員がパネル討論に登壇

**(2015/5/20 読売新聞 朝刊 30p)**

トイレナーレ詳細発表 7月18日～9月23日 若手作家ら16組参加=大分  
市民研究員 OB 藤浩志さんが作品を出品予定

**(2015/5/16 朝日新聞 朝刊 20p)**

異議あり 異議なし「福岡一人勝ち」どう思う？  
当研究所 OG 佐々木喜美代さんが「先はわからない」「人情が都市文化を支える」と語る。

**(2015/5/16 日本経済新聞 朝刊 34p)**

この1冊 新版 エンジョイ、レトロビル！未来のビンテージビルを創る  
市民研究員 OB 吉原勝己さんの著書が紹介される。

**(2015/5/15 山陽新聞 朝刊 27p)**

まちナビ 出かけませんか@岡山・倉敷イベント◇まちアートマネジメント講座スタート・トークセッション  
市民研究員 OB 藤浩志さんが出演するイベントの開催予告

**(2015/5/14 西日本新聞 朝刊 30p)**

九州経済 福岡市の国際比較レポート  
当研究所の研究報告書「第3極」の都市が紹介される。

**(2015/5/4 日本経済新聞 朝刊 17p)**

経済教室 地方創生 地域の視点(上)：官民・広域の連携が必須 英国の事例、参考に 自ら生き残りへ知恵絞れ  
当研究所 OB で、現在企画委員の谷口博文さんが記事を執筆

**(2015/5/1 西日本新聞 朝刊 26p)**

西日本新聞TNC文化サークル アイ&カルチャ天神 5月開講新講座 万葉に元気をもらおう歌碑めぐり  
市民研究員 OG 井上光枝さんが講師を務める。

**◎雑誌**

**(2015/5/24 日経デザイン)**

44~47p 特集1 コミュニティがつくる新たなカタチ  
FDC が主催するイノベーションスタジオの活動が紹介される。

**(2015/5/15 アジ研ワールドトレンド2015年6月号 No.236)**

14~17p 特集 朝鮮半島の都市：群山の近代文化都市開発事業/金中奎  
当研究所等が主催するアジア都市景観賞受賞都市として群山市が紹介される。

**(2015/4/1 九州マーケティング・アイズ 2015春 April vol.73)**

22~24p アジアと九州の今“見えない”福岡が見える！？  
当研究所 OB 山本公平さんが執筆